

慈恩寺中だより

学校教育目標「自主自立をめざす生徒」 キーワード「努力夢現」「挑戦と煌」



今年のテーマは？

校長 高波 國夫

新しい年が始まりました。みなさん、今年のテーマは何にしますか？
2学期、3年生と校長面接を行いました。その中で「好きな言葉は何ですか？」
「いつも心がけていることは何ですか？」と質問しました。すると、返ってきた
答えは実にさまざまで、十人十色。以下のような言葉がたくさん出てきました。

- ・打たないシュートは100%入らない
- ・待てば海路の日和あり
- ・塵も積もれば山となる
- ・一球入魂
- ・継続は力なり
- ・十人十色
- ・最終的にはいいことが起こる
- ・笑顔が人を幸せにする
- ・桜梅桃李
- ・やればできる、だからやる
- ・やりたいと思うことは挑戦すればいい
- ・類は友を呼ぶ
- ・努力は人を裏切らない
- ・一生懸命
- ・悪戦苦闘
- ・悔しいと思えるならまだ戦える
- ・勇気は一瞬、後悔は一生
- ・自由
- ・勇往邁進
- ・あきらめない
- ・挑戦
- ・為せば成る 為さねばならぬ
- ・猪突猛進
- ・気合と根性
- ・臨機応変
- ・事実ひとつ、解釈は無数
- ・やればできる
- ・笑う門には福来る
- ・迷ったときは前に
- ・プラス思考
- ・壁というのはできる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている。 など



そのあと、すかさず「なるほど～、どうしてその言葉を選んだの？」と聞くと、それぞれの理由を教えてくださいました。話を聞かたびに、「一人ひとりに歴史あり」だなと感じました。

また、「中学3年間で学んだことは何ですか？」と尋ねると、9割近くの生徒が「人間関係です」と答えてくれました。その中には、こんな声もありました。

★協力すること、団結することの大切さ、素晴らしさを学びました。



★入学当初は自分の意見ばかり言っていました、だんだん周りに人がいなくなってしまう。そこで、まず相手の意見を尊重し、その後に自分の意見を言うようにしたら、周りに人が増えました。

★みんなを動かす指示の出し方を学びました。回りくどいと伝わらないので、指示は短く、直接的に、1回で伝えるようにしたら、よく伝わるようになりました。

学校というのは、勉強する場であると同時に、集団の中で生きていくための「力」を学ぶ場でもあるのだと、改めて感じました。

その他にも、部活動や勉強を通して「初めはできなくて、途中で諦めたくなかったけれど、ここでやめたら後悔すると思って頑張ったら、できるようになりました」というように、「やればできる」という経験を語ってくれた生徒もたくさんいました。

新しい年を迎え、中学校生活ではさまざまな出来事が待っています。困難を乗り越える経験を通して、「やればできる」という気持ちを育ていける一年になることを願っています。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。